

## 公益社団法人愛知県医師会 第16回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年 8月29日(木) 午後2時30分～午後4時02分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

### 出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤 健一

城 義政 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗 樫尾 富二

松尾 清一 樋口 俊寛 伊藤富士子 瀬瀬 雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／藤原 誠治 大野 和美

### 欠席者

なし

議事録作成者 横地 宏和

※松尾理事、樋口理事、細川理事が遅刻の為、承認事項1～協議事項7については、22名にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者25名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

### 議 事

#### 一承認事項一

##### 1. 庶務関係事項について

##### (1) 後援並びに共催について

①愛知アルコール連携医療研究会(世話人代表 塚田勝比古：NTT西日本東海病院名誉院長)主催の第9回愛知アルコール連携医療研究会〔9/19(木)〕の後援について市川理事より説明があり、承認された。

②第10回愛知県精神障害者スポーツ(バレーボール)大会(愛知県ソフトバレーボール連盟会長 遠嶋民樹)〔10/30(水)〕の後援について市川理事より説明があり、承認された。

③愛知産業保健推進センター主催の日医認定産業医研修会の共催について  
市川理事より説明があり、承認された。

(2) 一般社団法人日本医療法人協会(会長 日野頌三)主催の第28回全国医療法人経営セミナー〔10/26(土)〕の後援について  
市川理事より説明があり、承認された。

(3) 一般社団法人名古屋市医師会の行う第2回医療安全対策講習会〔11/7(木)〕への講師派遣について  
市川理事より説明があり、大輪理事の派遣が承認された。

(4) 全国都市緑化あいちフェア実行委員会(仮称)委員の就任依頼について  
市川理事より説明があり、柵木会長の推薦が承認された。

## 2. 衛星携帯電話の変更について

稲坂理事より、衛星携帯の導入にあたり、初期導入コスト、ランニングコスト、通信エリア、連続通話時間、連続待ち受け時間、通話品質等について再度調査を行い、費用面では、ドコモとソフトバンクでは初期導入コストで約38万円ソフトバンクが安価であり、ランニングコストでは同額であったがソフトバンクでは月に1,000円分の無料通話が付加されており、毎月6分強の無料通話訓練が設定できるメリットがある。また、契約台数はドコモが10万台、ソフトバンクが1万台であると説明された。

柵木会長より、契約台数を鑑みてドコモの方が汎用性があると発言され、ドコモと契約することが決定した。

3. 日医代議員と本会役員との合同協議会〔10/3(木)〕開催について  
(愛知県医師会主催：5階医師連会議室)

市川理事より説明があり、承認された。

柵木会長より、10月13日(日)に開催される第130回日本医師会臨時代議員会について協議する旨発言された。

4. 第6回地域医療再生に関する多職種連携協議会〔9/10(火)〕開催について  
(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より説明があり、標記協議会の開催が承認された。

5. 難病相談室「患者・家族のつどい」〔9/27(金)・10/31(木)・12/10(火)〕について  
(愛知県医師会主催：601会議室、6階研修室、803～804会議室)

大輪理事より説明があり、障害年金勉強会、潰瘍性大腸炎、網膜色素変性症の患者・家族のつどいの開催が承認された。

6. かかりつけ医認知症対応力向上研修〔10/12(土)・11/23(土・祝)〕開催について  
(愛知県医師会主催：岡崎市医師会公衆衛生センター、TKP名古屋ビジネスセンター)  
榎尾理事より説明があり、10月12日(土)に岡崎市医師会公衆衛生センター、11月23日(土・祝)にTKP名古屋ビジネスセンターにて開催することが承認された。

—協議事項—

7. 9月の県下医師会長等協議会への地区医師会からの協議事項について  
柵木会長、市川理事より、名古屋市熱田区医師会より「適時調査」について資料のとおり質問があり、9月の県下医師会長等協議会の協議事項として提出したいと発言され、伊藤副会長より、質問事項として榎尾理事より回答すると提案があり、承認された。

8. その他

—報告事項—

1. 医師派遣に係る大学間協議会〔8/23(金)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

柵木会長より、協議事項は、「地域枠医師の養成等について」、「あいち小児保健医療総合センターへの医師派遣について」であり、地域枠医師が再来年に卒業し、後期研修からどうやっていくか、地域枠医師の赴任先決定についての手順、個々が赴任する先の調整イメージの説明があり、今後は、地域枠医師指導・相談窓口が大きな役割を果たしていくことになり、今まで議論されていなかった専門医のキャリアをどう作るかのファクターと地域枠医師との関わりが今後関連してくるので、地域枠医師、専門医、医局としての3つのキャリアを勘案して進めていかなければならないと報告された。

2. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔8/26(月)〕について

(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)

柵木会長より、新規が3件認定されたと報告された。

3. 救急医療情報センターにおけるお盆期間中の案内状況について

稲坂理事より、今年度のお盆期間(8月12日～18日)7日間の総受信件数は7,758件であり、昨年の件数6,961件と比較すると約800件増加したが、今年はお盆期間が昨年より1日多いため、1日の平均件数としては昨年と同等であった。また、今年も各医療機関の連休予定を事前に電話確認および地区医師会から情報収集した事により、極端に問合せの集中する時間帯を除き概ね迅速に対応する事ができたと報告された。

4. 平成25年度第3回愛知県救急業務高度化推進協議会作業部会〔8/20(火)〕について

(愛知県救急業務高度化推進協議会主催：三の丸庁舎)

稲坂理事より、転院搬送時における救急救命士が行う特定行為を、搬送元の医師の指示に従って行う場合の取扱いと、救急救命士の処置範囲の拡大が、今後は病院協会と県医師会において、どのように正しく広く広報されるかの観点より、愛知医科大学の竹内昭憲MC協議会作業部会長より周知依頼があったと報告された。

5. 中部国際空港合同調整所担当者会議〔8/20(火)〕について

(中部国際空港緊急計画連絡協議会主催：中部国際空港)

稲坂理事より、昨年度の訓練の際、合同調整所内での情報共有がうまくできていない等の意見が多数あったため、当日を想定した図上訓練を実施し、具体的な情報共有・伝達方法について意見交換と確認が行われた。風または騒音等の影響で情報が伝わりにくいことを考え、10月3日(木)開催の訓練ではマイクを使用して実施する予定であると報告された。

6. 第2回広域医療搬送訓練等連絡調整会議〔8/21(水)〕について  
(愛知県主催：自治センター)  
稲坂理事より、8月31日に南海トラフ大地震の被災地と想定し、全国から参集した災害派遣医療チーム(DMAT)が県内で対応しきれない負傷者を、広域搬送拠点である県営名古屋空港を經由し、域外へ搬送する実働訓練を実施するに際し、その計画内容が周知された。また、愛知県医師会に、医師会無線機の借用と広域災害システム(EMIS)の監視、入力補助等の依頼があったと報告された。
7. 名古屋空港平成25年度愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会消火救難総合訓練に関する第1回担当者会議〔8/21(水)〕について  
(愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会主催：名古屋空港)  
稲坂理事より、平成25年度の消火救難総合訓練の第1回目の会議が開かれ、11月7日(木)13時30分から15時45分で実施となり、今後は、救急医療部会・消防部会を順次開催し、第2回目の担当者会議を実施することになったと報告された。
8. 日医・JAXA協定に基づく衛星利用の実証実験(防災訓練)【仮称】に関する打合せ会〔8/22(木)〕について  
(日本医師会主催：日本医師会館)  
稲坂理事より、平成25年1月30日(水)に行われた日本医師会・JAXA協定署名式を機に準備された「日医・JAXA協定に基づく衛星利用実証実験(防災訓練)(仮称)」が、愛知県・兵庫県・香川県医師会での基地局設置を軸として行われることが決定。その目的は、南海トラフ巨大地震発災の場合に、クラウド型災害医療情報システムを円滑に運用するためである。打合せ会の最後には、川崎朗陸将補の講演があった。また、本件に関連して9月3日(火)開催の救急委員会に日本医師会の永田先生、事務局を招き説明をして頂くことになったと報告された。
9. 日医・災害医療小委員会〔8/22(木)〕について  
(日本医師会主催：日本医師会館)  
稲坂理事より、JMAT携行医薬品リスト、緊急被ばく医療に係る安定ヨウ素剤の事前配布等を議論し、この件について、日医総研の「原子力発電所災害による全国的な緊急被ばく医療対策に関する研究」「安定ヨウ素剤の配布・服用にあたって」、原子力規制庁の「原子力防災指針」「安定ヨウ素剤の配布・服用にあたって」(地方公共団体用・医療関係者用)「事前配布時の説明会の流れについて」を参考にすると報告された。
10. 「平成25年度健やかな妊娠等サポート事業」検討会議〔8/20(火)〕について  
(名古屋市立大学主催：名古屋市立大学)  
可世木理事より、女性の晩婚化・不妊・高齢出産に伴い、「卵子の老化」によるリスクが問題となっている。一般の妊娠・出産についての知識や意識についての実態調査を行い、ライフステージに合わせた普及啓発の方法を検討し、本年度から3

年計画で、まずは1万人に対し2年間のアンケート調査を行うことになったと報告された。

1 1. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰について

市川理事より、大嶋勉先生の受賞が決定し、10月2日(水)に厚生労働省中央合同庁舎にて表彰式が行われると報告された。

1 2. 愛知県社会福祉協議会第2回苦情解決合議体〔8/19(月)〕について

(愛知県社会福祉協議会主催：愛知県社会福社会館)

市川理事より、4月から7月の相談件数は47件で、9割が電話相談であり、高齢者、障害者の方からの相談が多く、内容は施設の対応についての苦情であり、個々の事例について検討されたと報告された。

柵木会長より、どのようなルートで苦情が上がってくるのか質問があり、市川理事より、社会福祉協議会の相談窓口へ電話、手紙等で入り、2割くらいは納得されないケースがあると説明された。

1 3. 健康教育講座〔8/21(水)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

吉田理事より、「黄昏に寄り添う：看取りの介護を考える」と題し、介護される側の話しを、中部労災病院神経内科・女性診療科部長上條美樹子先生にご講演頂き、264名の参加があったと報告された。

1 4. 第5回地域医療再生に関する多職種連携協議会〔8/20(火)〕について

(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、イエローカードシステムの試行を新たに開始する東郷地区、春日井地区の進捗状況について報告。行政担当者ならびに各関係者の協力のもと、順次段階を踏んで試行を進めていく予定であり、また、当システム手引書の改善点の説明、医療・介護連携における個人情報の適切な取り扱い方、地域特性に応じた臨機応変な対応の必要性などについて討議、検討したと報告された。

1 5. 特定健診・保健指導研修会～日医認定健康スポーツ医学再研修会～〔8/10(土)〕について

(愛知県医師会主催：AP名古屋.名駅)

城理事より、スポーツ医の再研修を兼ねて開催し、参加者数は69名であったと報告された。

1 6. SMOの今後の本会事業支援についての打ち合わせ〔8/21(水)〕について

(愛知県医師会主催：愛知医科大学)

大輪理事より、昨年度より開始した治験実施医療機関の新規開拓事業を進めるにあたり、現在の問題点の解決策およびSMOへの支援依頼を含めた今後の方針につ

いて、愛知県医師会治験推進事務局顧問である愛知医科大学・石川直久学長を訪問し打ち合わせ等を行った。詳細については、9月10日(火)に中間報告書が提出されるので、次回理事会に提出する治験審査委員会の報告と併せて行うと報告された。

柵木会長より、県医師会がどう対応するかを報告して頂くよう大輪理事に依頼された。

17. 愛知県医師会名古屋市医師会の共催する AED (BLS) 講習会 [8/22 (木)] について  
(愛知県医師会・名古屋市医師会共催：名古屋市医師会館)

細川理事より、吉田病院院長吉田洋先生を講師の中心として、7グループ計21名(医師4名、看護師8名、事務員9名)が参加した。AED (BLS) 講習会は現在までに、医師約700名、医療従事者約400名が受講しているが、受講者が減ってきているので対策を検討したいと報告された。

柵木会長より、再講習について質問され、細川理事より、医療機関の職員が多く受講しているので検討すると回答された。

18. 産業医研修会 [8/20 (火)、8/22 (木)] について

(愛知県医師会主催：大同特殊鋼(株)知多工場、9階大講堂)

西山理事より、8月20日(火)は大同特殊鋼(株)知多工場にて開催し27名、8月22日(木)は愛知県医師会館にて開催し148名の出席であったと報告された。

19. 「現代医学」誌編集委員会幹事会 [7/26 (金)] について

(愛知県医師会主催：805会議室)

松尾理事より、「現代医学の在り方」に関するこれまでの検討経過概要を確認し、平成26年度第2号から紙媒体を止めホームページへ掲載すること、また、委員構成について75歳以上の委員は顧問とする等の見直しの検討を行い、12月開催予定の編集委員会にて決定することになったと報告された。

柵木会長より、第2号はいつ発刊か、また、ウェブ化で発刊が先延ばしされる心配があるので個々に出しても良いのではないかと質問され、松尾理事より発刊は来年12月頃、発刊までのスケジュールは今まで通りとし、まとめて出すことにより国立国会図書館で認知されると回答された。また、柵木会長より本件について県下医師会長等協議会にて説明を行うよう松尾理事に依頼された。

20. GOOD LIFE PROJECT (在宅医療に関するプロジェクトチーム) [8/19 (月)] について

(愛知県医師会主催：804会議室)

樫尾理事より、樋口理事が出席した会議で、豊明市で行っている「いきいき笑顔ネットワーク」と、長久手市で行っている「愛・ながくて夢ネット」、豊橋市や瀬戸旭の現状についてそれぞれ報告があったと報告された。

- 2 1. 愛知県介護労働懇談会〔8/20(火)〕について  
(介護労働安定センター愛知支部主催：住友生命名古屋ビル)  
樫尾理事より、樋口理事が出席した会議で、28名の委員構成にて、各団体が5分間取り組み説明をして会は終了。樋口理事より、テーマを決めて各種団体の考え方、取り組み方を話し合う方がよいと意見を述べられたと報告された。
- 2 2. 平成25年度第1回愛知県介護予防推進会議〔8/21(水)〕について  
(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)  
樫尾理事より、樋口理事が出席した会議で、委員長は遠藤英俊委員。要介護認定者割合の推移、平成24年度新規認定割合、第1号新規認定者介護度別内訳について説明があったと報告された。
- 2 3. 平成25年度第1回愛知県認知症施策推進会議〔8/21(水)〕について  
(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)  
樫尾理事より、樋口理事が出席した会議で、委員長は遠藤英俊委員。認知症対策としての地域支援体制・介護体制・権利擁護・認知症予防、認知症施策推進5カ年計画(オレンジプラン)、介護マークのポスターについて報告された。  
柵木会長より、愛知県介護予防推進会議、愛知県認知症施策推進会議の開催回数について質問され、樋口理事より、ともに3回開催であると回答された。  
伊藤副会長より介護マークの支給要件について質問され、樋口理事より、詳細は不明だが介護が必要な場合に市町村へ申請すれば取得出来ると思われると回答された。
- 2 4. 第1回愛知県子ども・子育て会議〔8/22(木)〕について  
(愛知県主催：愛知県自治センター)  
伊藤(富)理事より、幼稚園、こども園、保育園関係者で構成されており、会長が後藤澄江先生、副会長が望月彰先生。平成24年8月公布の子ども・子育て支援法に合議制の機関、子育て当事者の意見聴取義務、すなわちアンケート調査の実施とあり、また、条例による合議制機関の設置努力義務により本会議が設置されている。平成22年から26年の5年間あいちはぐみんプランがあったが本会議に発展的解消するということ、また、アンケートの計画説明があり、このアンケート内容をもとに平成26年度に子育て支援の事業計画を立て、平成27年4月から開始されると報告された。
- 2 5. 各種委員会・部会について  
A) 調査室委員会〔8/28(水)〕について  
(5階医師連盟会議室)  
加藤理事より、名古屋市医師会調査室勉強会、中部医師会連合医療政策特別委員会での検討内容、日本医師会電子認証センター、メディファクスについて議論したと報告された。

## 26. その他

### ・居住系サービス施設等について

樋口理事より、居住系の施設における医師との関わりについて、協力医療機関の定めが必要な施設と必要ない施設について説明され、サービス付き高齢者向け住宅では住んでいる人を医師へ紹介し手数料を徴収しているケースもある、また、広告に医療機関名を掲載するには、県への申請の際に、医療機関との協力に関する契約書を添付することになっていると報告された。

その他、施設に入居している人、病院へ入院している人が、外部の医療機関に雇った際の診療報酬に関する意見交換が行われた。

—話題提供—

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年8月29日